

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	富士大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フジダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	キャリア形成論Ⅱ
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	キャリアセンター長 馬上 達幸 副センター長 木村 毅 副センター長 佐々木清人 センター長代理 菅原 祐喜 調査役 佐々木紀子
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	126
	受入企業等数	30
	受入企業等名	(株)ベルジョイスビックハウス川久保店(株)ベルジョイスビックハウス矢巾店(株)ネクサスタケダスポーツ青山店株式会社レオパレス21〔盛岡海運橋〕(株)コメリ パワー花巻店(株)ジョイス花巻高木店(株)ベルジョイスビックハウス花巻店(株)ネクサスタケダスポーツ花巻店(株)ネクサス ネクサス花巻店花巻市役所花巻商工会議所花巻温泉 株式会社ファインリゾート(株) 渡り温泉(株)マイヤ アルテ桜台店旭エンジニアリング(株)ホテル グランシェール花巻アルテマルカン 桜台店(株) 風 童 社(株) シリウスケアサービス(社)めぐみ福祉会めぐみ保育園青山商事(株)洋服の青山花巻店花巻市消防本部花巻中央消防署(株)カワチ薬品(株)コメリ パワー北上店北上市役所(本庁舎、生涯学習文化課)(株) 中村商会(有) かぎや菓子舗ホテルシテイプラザ北上DCMホームマック花巻北店DCMホームマック江刺店
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	正規社員と協働しての作業や営業補助など当該事業所業務の体験。接客業務でのビジネスマナー、ヒューマンスキルの向上。統計データ整理や市史編纂業務などの公務体験。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,4.当該インターンシップは、必修科目として実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	正課必修科目「キャリア形成論Ⅱ」(2単位)の中に組み込まれた体験学習で、幅広く実践的な知識を得て職業理解を深め、確かなキャリア選択力を身に付けさせる。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全7回の事前学習の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解(第2回)、インターンシップ中の目標設定等を行う(第2回)、希望調査やビジネスマナー研修(第2回)、インターンシップ中のリスクマネージメント(第1回)等を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験とキャリア形成がどのようにつながったかを振り返る目的で、インターンシップ終了後、全員参加の中で学内報告会を行っている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	なし	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	学生のインターンシップレポートや終了後の自己評価、実施先の担当者による実習評価、さらにキャリア教育成果検証のための企業アンケートを実施し、教育内容の改善を図っている。

要素④	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施中は毎日の反省と感想を本人が記入する日誌を作成し、同時に実施先の担当者が当日の実施状況の確認とコメントを記載。終了後はインターンシップ期間全体に対する自己評価と実施先の担当責任者からの指導、気づきを記入してもらい、キャリア形成の深化や今後の就学意識への動機づけに資するよう指導を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 5-2.該当する実施期間 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.はい 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している 5日間 実施期間15日間(うちインターンシップ実施期間5日間) 市役所、商工会議所、消防署等公共機関を含め、県内30事業所において2学年学生全員を対象に5日間のインターンシップを行っている。さらに、より専門的内容を高めた体験学習として、数名の学生について2週間のインターンシップを実施した。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.はい 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 学生が当日の体験実習について反省を行い、これについて個別の指導をして頂いている。さらに、終了後は、学生のインターンシップへの取り組み状況を評価してもらい、就業意識向上への助言を頂いた。また、インターンシップ事前学習においては、社会人としてのビジネスマナー講座や産業人講話等で講師として協力を頂いている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.fuji-u.ac.jp/iassistant
問い合わせ先	大学等名 担当部署名 担当者役職名 担当者氏名 電話番号 メールアドレス	富士大学 キャリアセンター 副センター長 佐々木 清人 0198-23-7933 syusyoku@fuji-u.ac.jp